

横浜新町まちづくり通信 NO.15

2026年3月

編集 横浜新町まちづくり市民会議

発行責任者 片岡 達哉



次なるステージへ

木工教室（令和7年7月26日（土）実施） 詳しくはp.6へ ▶▶▶

当会は、「高知市立横浜新町小学校」の校区内にお住まいの方および、職場が校区内にある方（小・中学校や保育園の教職員を含む）を対象に一般公募で集まった有志により、同小学校区をまちづくり活動のエリアとして、平成25年4月に設立された「まちづくり団体」です。なお、事務局は高知市地域コミュニティ推進課が担当しています。

今年度は、当会独自の事業として「木工教室」や「しゃぼんだまであそぼう！」を実施したほか、講師をお招きし、地域を流れる宇賀谷川において「川の生物・水質調査」を開催しました。また、近隣地域との共同企画である「8月8日ロードボランティア」には、横浜中学校の生徒会からも多くの皆さんにご参加いただきました。

横浜新町小学校区の「新町ふれあいまつり」は、残念ながら天候不良により中止となりましたが、横浜中学校区の「よこせと海辺のにぎわい市」にはブースを出店しました。さらに、同じく中学校区でのまちづくりイベントとして毎年開催されている「浦戸湾海洋調査二ロギ釣り」にも参加しました。

上の写真は、今年度初開催した「木工教室」の際に、完成した宝箱を持って撮影した集合写真です。

（代表幹事 片岡 達哉）

～ 活動の御礼 ～

このたび、横浜新町まちづくり市民会議は、令和8年3月をもちまして解散することとなりました。これまで長きにわたり、地域の皆さまには多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

設立当初より、行事や活動を通して、地域のつながりを大切にしながら歩んでこられたのも、ひとえに皆さまの温かいご支援のおかげです。活動の中では至らぬ点多々あったことと存じますが、それでも変わらず見守り、支えてくださったことに、深く感謝申し上げます。

本団体は解散いたしますが、今後は横浜新町小学校区地域内連携協議会の一員として、活動を継続していく予定です。横浜新町小学校区のますますのご発展と、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

令和8年3月 横浜新町まちづくり市民会議 代表幹事 片岡 達哉

ご連絡・お問合せ先

横浜新町まちづくり市民会議 事務局
高知市地域コミュニティ推進課（担当：田中）

TEL : 088-823-9080 FAX : 088-824-9794
メール : kc-102000@city.kochi.lg.jp

かわ い もの しら すいしつ ちょうさ

川の生き物を調べて水質調査をしよう！

今年で4回目となるこの行事を、これまでと同様に「高知県環境活動支援センター えこらぼ」の石川妙子先生に指導をお願いして、宇賀谷川で実施しました。

これまでの3回は8月に実施してきましたが、夏場は水が少なかったり水温が高かったりして生物が少ないこと、またヤゴ（トンボ類の幼虫の総称）が成虫になっていなくなっていること等から、今回は4月に実施しました。

ところが、この日は水の量が十分で水温も適温だったにもかかわらず、水草の中を網ですくったり、石をひっくり返したりして採集をしましたが、生物の種類も量も少ししかとれませんでした。

採集後に横浜新町小学校に移動して、生物の名前を調べて水質判定を行いました。水質判定の指標となった生物はサワガニ、カワナナ、テナガエビ、モクスガニ、イシマキガイの5種だけでした。

その結果、石川先生が行った宇賀谷川の水質判定は、「まあまあきれいではあるが、種類数がトータルで5と少ないので環境はよくない川」ということでした。

最後に石川先生から「準絶滅危惧種の“ニホンイシガメ”が2匹いた。宇賀谷川はすぐ側に山がありイシガメが卵を産む所としては好ましい川」「カメは長寿で50～60年は生きるの、飼うのは要注意」「メダカなど掛け合わせるのがブームになっているが、そういうのを川に放つと本来のメダカがいなくなる。買って来たものは在来種の遺伝子に影響を与えるので放さない。」「昆虫が少なくなり、ヤゴがいなくなった問題を探るためにも、調査は継続してやったほうがいい。」などのお話がありました。

（副代表幹事 曾根 堂）

当日の様子



宇賀公民館のふもとに集合！
長靴を履いて帽子をかぶって
みんな準備万端です



調査ポイントへ
レッツゴー！



生き物を探しながら
川を散策！



何がいるかな？

高知県環境活動支援センター えこらぼ
石川 妙子 先生



みんなで生き物の大搜索！



川の更に上流へ



「ニホンイシガメ」を発見！！



橋の下までくまなく搜索！



最後は学校に戻って水質判定とふりかえり



宇賀谷川の環境を良いものにして
貴重な生き物を守っていこうね！



令和7年5月11日（日）実施

第24回

よこせと海辺のにぎわい市

よこせと連携協議会が開催する「第24回よこせと海辺のにぎわい市」に、今回も出店しました。出店内容は、例年どおりフランクフルトの販売です。今回はジャンボフランクを400本仕入れ、赤字覚悟で1本100円にて販売しました。

オープニングでは、横浜新町小学校金管同好会の皆さんによる演奏が行われ、金管同好会の子どもたちには、ジャンボフランクをプレゼントさせていただきました。当日は天候にも恵まれ、会場には多くの来場者が訪れ、午前中には完売となりました。

また、今年も高知福祉専門学校の学生さん3名が、お手伝いとして参加してくださいました。

会場には、地域の団体や学校、企業の出店のほか、警察署による活動報告、消防分団の放水体験など、さまざまな催しがあり、まさに「にぎわい」を感じるお祭りとなりました。（代表幹事 片岡 達哉）



令和7年11月16日（日）実施

浦戸湾 海洋調査 二ロギ釣り！



毎年恒例のよこせと連携協議会との合同イベント「浦戸湾海洋調査二ロギ釣り」に、今年も参加してきました。

昨年は過去一番の不漁で、参加者の中には1匹も釣れなかった方もいるほどでしたが、「不漁の翌年は大漁になる」というジンクスを信じて

海に出ました。ポイントに到着し、糸を落とすと、早速当たりがあり、二ロギが面白いように釣れ始めました。横浜中学校生徒会の皆さんが乗っている船からも歓声が聞こえ、ひと安心しました。港に戻ってからは、釣れた魚の種類や数を報告書に記入しました。今回は1,073匹の二ロギを含む、1,091匹の魚が釣れました。私は合計65匹の二ロギを釣ることができ、から揚げや二ロギ汁にして美味しくいただきました。

実際に釣りや調査を体験することで、浦戸湾の海洋環境や生き物について学ぶ、貴重な機会となりました。参加した子どもたちにとっても、思い出に残る一日になったことと思います。

最後に、漁船を出してくださった灘漁港の漁師の皆さんに、心より感謝申し上げます。

（代表幹事 片岡 達哉）



令和7年8月8日（金）実施

8月8日 ロードボランティア

横浜新町まちづくり市民会議では、よさこい祭りの開催前に、「高知のまちをきれいにしよう！」を合言葉に、毎年「8月8日ロードボランティア」を3団体の共催で実施しています。

横浜中学校では、生徒会メンバーが呼びかけをしてボランティアを募り、当日は多くの生徒が参加しました。地域の皆さんと一緒に、早朝6時から集合して、およそ1時間、桂浜道路と高知南環状線のゴミを拾いました。桂浜へ続く道路を清掃することで、観光客の皆さんに「おもてなし」の心が伝わればと思います。来年の8月8日も、多くの皆さんの参加をお待ちしています！

（横浜中学校 教頭 吉岡 美佐）

横浜中学校生徒会の皆さんが大活躍！



4つのエリアから集まった
荷台いっぱいのごみ



新町エリアでもたくさんのごみを回収しました

最後はみんなで集合写真！



たくさんのごみを拾って、
道路がとってもきれいになりました👍

木工教室

世界にひとつだけの宝箱を作ろう!

たからばこ つく

今回の木工教室は、昨年度まで実施していた「樹木の名札付け」で木の名札をご提供くださっている「ニッセイ緑の財団」様に、今年度は木箱のキットをご用意いただき、初めて開催しました。会場の蒔絵台集会所が満席になるほど、たくさんのご家族の皆さんがご参加くださり、素敵な笑顔が溢れたとても良い親子交流イベントとなりました。それぞれ、持参したデコレーショングッズを活用して、世界で一つしかないオリジナル宝箱が出来上がり、本人にとっては、まさに「宝箱」です!!

最後に、蒔絵台集会所横の蒔絵台1号公園（通称「くすのき公園」）にあるくすのきの大木の前で、参加者全員で記念撮影をしました。

（顧問 漁師 明）



ニッセイ緑の財団様にいただいた
宝箱キットを組み立てて...



ビーズやシール、ペン、リボンで
思い思いにデコレーション!

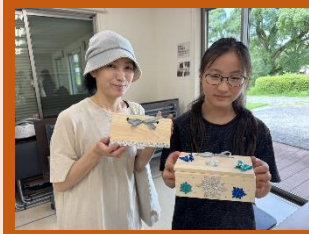




何色のリボンを使おうかな？



宝箱といっしょに、はい、チーズ！！



世界にひとつだけの、素敵なお宝箱ができました！

しゃぼんだまで あそぼう！

「蒔絵台にシャボン玉が来た」

9月はまだ暑かったが、蒔絵台1号公園にはそよ風が吹いて、シャボン玉遊びには最高のコンディションだ。

今年は、大きなシャボン玉ができる道具を親子で作るワークショップを開催した。横浜新町まちづくり市民会議の幹事さんに、必要な棒と洗剤を用意していただいた。参加者は「こんなもので本当にシャボン玉ができるのかな？」と不安顔だ。親子で協力して道具が完成した。

道具作り
スタート！

毛糸

おもり

園芸用
支柱

古川 修二
先生

親子で協力

黙々と作業

さっそく
しゃぼんだまで
遊んでみよう！



笑顔で
楽しく！



バブル
シャワー！



古川先生の
しゃぼんだま講座

風向きを
読んで大きく
膨らませよう

シャボン玉の作り方を説明しながら見せてあげる。大きなシャボン玉「ビッグバブル」、たくさんの小さなシャボン玉「バブルシャワー」、長い長いシャボン玉「バブルドラゴン」。これらの名前は子ども達が名付けてくれた。さあ、みんなでシャボン玉を飛ばしてみよう。さっそく、蒔絵台1号公園はいろいろなシャボン玉でいっぱいになった。

子どもたちの歓声が「わあっ」と響き、驚きの声と拍手が沸き起こる。大人達が動画を撮ろうとスマホを構える。楽しいシャボン玉遊びのひとつときになった。心を癒やしてくれるシャボン玉。これからもたくさんのシャボン玉を飛ばして楽しんでいこう。

(シャボン玉おじさん 古川修二)

あわあわ～



ビッグ
バブル！



親子で
バブル！



バブル
ドラゴン！



これまでの活動を振り返って…

平成25年4月に設立されたまちづくり団体「横浜新町まちづくり市民会議」は、惜しまれながら今年度をもって終了となります。地域の有志の皆様や、高知市地域コミュニティ推進課とともに、子どもたちの笑顔のために取組を進めてまいりました。親子で自然の中で学ぶ楽しさや数々の発見、そして生き物の命の仕組みや大切さ、普段体験しない数々の体験を、子どもたちが目を輝かせながら参加していました。また保護者の方々も童心に返り、目を輝かせながら参加して下さった姿に、参加している私たちもとても幸せな気持ちになりました。取り組んでよかったと、誰もが感じる事ができた瞬間でした。親子だけではなく、地域との絆を育む会であったと感じています。

活動は終わりとなりますが、これからも子どもたちの笑顔のために、協力し合いながら取組を進めて参りたいと思います。この活動にご協力していただいたすべての皆様に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

(高知市立横浜新町小学校 教頭 西森 由美)

プレイバック! 横浜新町まちづくり市民会議のイベント ※一部抜粋

樹木の名札付け



フォトラリー



おもちつき大会



新聞バッグづくり



いも掘り・料理作り



こんにゃくづくり



まちあるき



横浜新町まちづくり通信 NO. 15

編集 : 横浜新町まちづくり市民会議
発行 : 令和8年3月
発行責任者 : 代表幹事 片岡 達哉
連絡先 : 事務局 高知市地域コミュニティ推進課 (担当: 田中)

TEL : 088-823-9080 FAX : 088-824-9794
メール : kc-102000@city.kochi.lg.jp

